

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社クラレ			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー		
本票作成	部署名：技術本部 動力統括部						
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業				
事業の概要	合成樹脂、合成繊維等の製造 従業員：2,145人 (岡山事業所：1,002人、倉敷事業所：665人、鶴海事業所：297人、くらしき研究センター：181人)						
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地		
	①	岡山事業所			岡山市南区海岸通1丁目2番1号		
	②	倉敷事業所			倉敷市玉島乙島7471番地		
	③	鶴海事業所			備前市鶴海4342番地		
	④	くらしき研究センター			倉敷市酒津2045番地1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)						

計画期間	令和5年度 ~ 令和7年度 (3箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	○
		<input type="checkbox"/> 原単位基準								
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和4年度)					目標年度 (令和7年度)				
	661,084 t CO ₂					641,251 t CO ₂				
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和4年度) の排出量					
	①	岡山事業所			573,735 t CO ₂					
	②	倉敷事業所			68,418 t CO ₂					
	③	鶴海事業所			16,704 t CO ₂					
	④	くらしき研究センター			2,227 t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和4年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

温室効果ガス排出量を令和4年度をベースに年1%削減し、令和5年度~7年度の3年間で令和4年度の排出量の3%に相当する量を削減する。

【目標削減率達成のための推進体制】

事業所長をトップとする環境管理組織で環境改善活動に取り組んでおり、この中で、GHG削減計画に関してはCO₂削減専門部会が削減活動の企画、管理を行い、GHG削減活動を推進している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3号発電機高効率化による省エネ (CO₂削減量4,000t/年) ・ エバールM-3T加圧の熱回収最適化 (高度制御の改善) による蒸気使用量削減 (CO₂削減量1,000t/年) ・ ポパール重合B列RS-1023生産時P-8塔留出共沸液のVAM%増加による9塔負荷削減 (CO₂削減量1,336t/年) ・ 11B未燃率改善による燃料使用量削減 (CO₂削減量950t/年) ・ 高効率ボイラ (12B)、タービン発電機 (7T) 導入による省エネ (CO₂削減量17,000t/年)
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8B廃プラ燃料増による石炭削減 (CO₂削減量1,600t/年) ・ 8B (バイオマスボイラー) 停止によるCO₂排出量削減 (CO₂削減量35,800t/年)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビニロン製造工程でのRe-PVAの活用 (CO₂削減量2,430t/年) ・ ビニロン503列乾燥機蒸気削減 (CO₂削減量700t/年) ・ ビニロン排熱水有効利用による蒸気削減 (CO₂削減量1,740t/年) ・ エバールM-3T(D)規則充填化による蒸気削減 (CO₂削減量1,080t/年) ・ ポパールP-9T(A)フィード熱交設置による蒸気削減 (CO₂削減量1,510t/年) ・ ポパールV-1T増段による省エネ (CO₂削減量710t/年)
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貫流ボイラー 熱回収による効率改善 (CO₂削減量320t/年) ・ 排水設備嫌気ガス燃料化によるボイラ燃料減 (CO₂削減量970t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

岡山県のアースキーパーメンバーシップにほとんどの従業員が登録し、各人が目標を設定することで、GHG削減、省エネの啓蒙を行っている。